



「雪の大谷」を巡り  
立山の自然に理解

体験バスツアー



ふるさとチャレンジ(越中チャレンジ)の体験型検定の部「雪の大谷体験バスツアー」が20日行われ、89人が立山・黒部アルペンルート(雪の大谷)などを巡り、雄大な立山の

富山の自然や歴史などの理解度を問う郷土検定「第13回越中富山

雪の大谷で立山の自然について説明を聞く参加者

— 立山・室堂

自然や文化について知識を深めた。県や北日本新聞社などをつくる実行委員会主催。

雪の大谷では、アルペンルート案内スタッフの立山ガールから説明を受けながら散策。道路の両側にそびえる

高さ約14mの雪の壁を見上げ、驚きの声を上げる参加者の姿もあった。立山博物館では立山信仰などの展示資料を見学した。最後に30問の検定に挑戦した。

「体験型検定の部」は3年目。検定に合格すると10点、複数回参加して合格すると最大20点が本検定で加点される。体験型検定は9月ごろま

でに数回行い、参加者は本検定の受検料が半額になる。

本検定は11月18日、県民会館など県内3会場と東京の1会場で行われる。問い合わせは実行委事務局の北日本新聞社営業局、電話076(445)3336。